

政策提言フォーマット

1 団体概要

団体名

所在地

ネットワーク『地球村』

大阪市北区堂山町 1 - 5 大阪合同ビル301

代 表

高木 善之

担 当

渡辺 裕文

連絡先 tel

0 6 - 6 3 1 1 - 0 3 0 9

fax

0 6 - 6 3 1 1 - 0 3 2 1

e-mail

office@chikyumura.org

団体の活動プロフィール

●ネットワーク『地球村』は、国連などが提唱している「地球と調和した社会（地球村）」の実現を求める人々のネットワークです。グリーンコンシューマが増えることで、「環境調和社会」の実現を目指して活動しています。

●年間500回以上の講演などを通じて、次のような啓蒙や提言を行っています。

市民には、意識、価値観の転換、 ライフスタイルの転換、 行政・企業に対しての**意思表示**、 行政には政策提言、 企業には経営提言

1991年設立。現在、会員は約**9 0 0 0 0 名**、支部が約 2 0 0 ヶ所（2001年 5 月現在）

●これまでの主な活動

啓蒙啓発活動（講演会、シンポジウム、ミーティングなど）、ニュースレター「地球村通信」、書籍、ビデオなどで情報発信。

● 講演実績：これまでに約 3 0 0 0 回、約 1 0 0 万人が参加

● 国際会議への参加（下記参照）

● 環境保全活動、講演会主催、企業、**行政との協力**など

各地で環境講演会の主催、CO2 削減運動、学校での「紫外線対策」や「プラスチック食器の見直し」、行政とのタイアップ、環境市民会議、環境イベントへの参加、ピースパレード、環境家計簿の普及、グリーンコンシューマガイドブックの作成などの活動が多数。

政策提言フォーマット

2 政策提言概要

（政策提言のエッセンスを下記フォーマットに基づいて紹介して下さい。）

（１）テーマ 永続可能な社会の実現に向けて グリーンコスト、グリーンGNPの導入によりグリーン経済への転換
（２）政策対象分野 横断的政策【経済システムの見なおし】
（３）政策手段 各種環境法令の制定・改正、税制改正全般
（４）提言概要 今後の方向性、各環境問題、市民参加という視点にしばって提言します。 ●グリーンコスト、グリーン GNP の導入によりグリーン経済への転換 環境を考慮していない経済の拡大を続ける限り環境破壊は本質的に解決できないため、グリーンコスト、グリーンGNPの導入によりグリーン経済への転換を提言 ●各環境問題について ●地球温暖化について 日本でのCO2排出量の削減目標を40%に設定し、すべての政策の見直しを行う ●オゾン層破壊について フロンガスの回収目標値を100%に設定し、全ての政策を見直す ●公共事業の全面見直しを行う ●ゴミ問題について ゴミの根本的発生抑制を理念に加え、全ての政策を見直す ●市民が主役の政策実施のシステムについて ●市民への環境教育、環境啓蒙活動を国として実施、支援すること ●市民がより政治に参加できる仕組み作り
（５）政策の推進に当たっての検討事項 デンマークの1973年以前のエネルギー自給率は5%でしたが、オイルショックを契機にエネルギー自給を高める政策を実行し、20年間で自給率118%を実現しています。既存の利益や権益に左右されることなく、国策、国の方針を大きく環境重視に転換し、大きな政策目標を立て実行することが現在の日本には不可欠と考えます